

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平11-512809

(43) 公表日 平成11年(1999)11月2日

(51) Int.Cl.⁶

識別記号

F I

F 1 6 K 31/10

F 1 6 K 31/10

E 0 3 D 13/00

E 0 3 D 13/00

F 1 6 K 31/44

F 1 6 K 31/44

B

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 34 頁)

(21) 出願番号 特願平9-514224
 (86) (22) 出願日 平成7年(1995)10月6日
 (85) 翻訳文提出日 平成10年(1998)3月24日
 (86) 国際出願番号 PCT/US 95/13199
 (87) 国際公開番号 WO 97/13088
 (87) 国際公開日 平成9年(1997)4月10日

(71) 出願人 テクニカル・コンセプツ・リミテッド・パ
 ートナーシップ
 アメリカ合衆国イリノイ州60060, マンデ
 ルイン, オランソン・ロード 1301
 (72) 発明者 マダーラック, ケネス
 アメリカ合衆国ウィスコンシン州53211,
 ショアウッド, ノース・メリーランド・ア
 ベニュー 4481
 (72) 発明者 シエー, ロッキー
 台湾, シン・チュウ, グアン・ファ・サウ
 ス・ストリート 43, 2エフ
 (74) 代理人 弁理士 社本 一夫 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 自動洗浄バルブ

(57) 【要約】

自動洗浄ハンドル起動装置が、駆動機構と該駆動機構のための自動含有型動力源とを有している包囲体(52)を含んでいる。この自動洗浄ハンドル起動装置は更に、衛生設備の使用を感知する感知手段(100)と、該感知手段(100)が衛生設備の使用を感知するとき駆動機構と動力源(104)とを相互に連結する相互連結手段と、を有している。第一端部及び第二端部を有しているアダプター(67)が包囲体(52)に剛着状態に含まれている。プランジャーピン(65)が第一端部において包囲体内の駆動機構に係合しアダプターを介して滑動可能に伸びている。ねじ付きナット(69)が、包囲体(52)とアダプター的一端部におけるハブ(85)との間においてアダプター(67)の周りに設けられている。このねじ付きナットと、アダプターの端部と、プランジャーピン(65)の一端部とが、手動起動洗浄ハンドルと実質的に同一のようにして洗浄機構と共に作動するように構成されている。

FIG. 2

